



あなたも子どもの「声」を受けとめませんか？

「子どもほっとライン もしもしにゃんこ 🐾」

聴き手養成講座お知らせ

★「子どもほっとライン もしもしにゃんこ 🐾」って、なあに？

島根県内の18歳以下の子ども専用電話です。問題の解決を目的とはせず、子どもの「気持ち」や「こころ」を『聴く』ことを大切にします。

子どもは、気持ちに寄り添い聴いてくれる人がいると、自分で切り開いていく力を出すことができ、また「話す」ということをきっかけに、自ら歩みだすことができるのではないかと思います。顔の見えない相手（電話）だからこそ話せることもあります。

電話でつながる子どもの「心の居場所」でありたいと思い、一本一本の電話を大切にしていって向き合う、それが「子どもほっとラインもしもしにゃんこ 🐾」です。

「聴き手」って？

子どもから掛かってきた電話の一本一本に寄り添い、子どもの「気持ち」や「こころ」を聴く人のことを「子どもほっとライン もしもしにゃんこ 🐾」では「聴き手」と呼んでいます。

一期一会の電話に向き合い「聴ききる」ことを心がけて活動しています。資格や過去の経歴などは一切関係ありません。現在のボランティアさんの職種も様々、20代～50代までの幅広い年代の女性・男性が関わっています。

また、電話の現場には「聴き手」が電話の向こうの子どもと安心して向き合えるように、サポートする「つなぎ手」もいます。子どもの電話を受けた後の気持ちや考えを聴き、不安な心、ストレスなどを、ふだんの暮らしの中に持ち帰らないようにする時間をもっています。

そして、私たちが大切にしているのは「安心感と信頼感のある電話」、子どもにとっての「心の居場所」でありつづけることです。

このたび3年ぶりに聴き手養成講座を開講します。あなたも「聴き手」をしてみませんか？